

図書だより

令和6年 10月号
三島高等学校 図書委員会

My Favorite Books

今回は、石川 裕司 先生 です！！



Q簡単な自己紹介をお願いします。

本年度、新居浜東高から転任して参りました石川裕司です。教員生活36年目の川之江出身58歳です。川之江高校では20年近く勤務しましたが、三島高校は初めての勤務となります。近隣の学校ではありますが、雰囲気の違いに戸惑っているのが現状です。

現在は3人の子供たちも自立し、高校時代から40年以上の付き合いとなった妻と二人、近くに住む孫3人にいじられながら過去を反省するという毎日を送っています。

何か新しいものを見つけたいと変化を望みながらも行動できない初老です。

Q学生時代に感銘を受けた本、皆に読んでほしい本を教えてください。

高校時代が40年以上前になるので記憶も曖昧であり、本もどこにあるのかわかりませんので、大学卒業後に出会った本の紹介をします。

感銘を受けたというよりも、学生時代に読んでおけばよかったと強く思った一冊で、本のタイトルは『世界十五大哲学』です。過去の哲学者がどういう問題をどう考え、どう解決したかを知り、自分ならばその問題をどう考えるのか自問自答するといった方法論と、哲学者の解説と批評が著述されています。

哲学を人生やビジネスに生かす上で、正しい方向に考えが浮かぶように、どうすれば「正しく考える」ことができるのか、「正しく考える」とは何かを考えさせられる本です。感情や環境に左右されやすい自分にとって、何度も読み返すものになっています。

Qみなさんに読んでほしい本を教えてください。

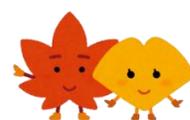
『知の教室』 佐藤 優

『これからの正義の話をしよう』 マイケル・サンデル

Q三高生に一言！

時は流れるし、その時折の時代が生む雰囲気というのも様々です。年齢を重ね、自分を取り巻く環境や社会風潮も大きく変化し、生きづらさを実感する人たちもいるでしょう。皆さんのこれからは、私たち中高年と違って、大きな変化の波が何度も訪れる時代になるのではないのでしょうか。そんな変化に対処するために、他に影響され

ず、自分のための人生を送れるように、自分の生き方の土台を高校時代に築いておいた方がよいのではとったりしています。納得のいく人生を見据えてください。



石川先生、ありがとうございました！！



2年4組図書委員のおすすめ本紹介♪



『宿命』 筆：東野圭吾

高校時代の初恋の女性と心ならずも別れなければならなかった男は、苦闘の青春を過ごした後、警察官になった。男の前に10年ぶりに現れたのは学生時代のライバルだった男で、初恋の女性の夫となっていた。刑事と容疑者、幼なじみの2人が宿命の対決を果たすとき、あまりにも皮肉で感動的な結末が用意される。

一つの事件を軸にしてパズルのピースを埋めるように謎が解けていくので、とても面白い作品となっています。また、読み終えた後は、裏切られたような感覚や爽快な気分になれると思います。ぜひ読んでみてください。



『ハリーポッターと賢者の石』 筆：J.K. ローリング 訳：松岡佑子

ハリーポッターシリーズでは、少し不思議な魔法の世界で生活する少年ハリーの生活が描かれています。緻密に作り込まれた世界観とストーリーから、まるで自分が魔法使いになったかのように錯覚するほど引き込まれます。また、強敵との対決や友達との楽しい生活、悩みや葛藤なども書かれており高校生の私たちにも共感できる場所が多くあります。私はこの本を読んだとき、魔法世界の魅力に取りつかれ、ホグワーツからの手紙をずっと待ってしまいました。もし普通の世界に飽きてしまった方、魔法の世界に行ってみてほしい方は、ぜひ一度読んでみてください。



2年4組図書委員さんありがとうございました😊



気候も涼しくなり、「読書の秋」にピッタリな季節になりましたね。みなさん、ぜひ書店や図書室で秋に読みたい本を探してみましょ！

